

共同技研化学株式会社

化学を通じ、新素材で世界に驚きと感動を与える企業 ——先行技術で社会に貢献する多機能膜を創造するリトルガリバー

ここに注目!

常に新製品を先行開発し、新しい市場へ展開する挑戦の社風
高速通信、自動車コネクテッド、医療など成長分野を支える製品群

世の中に先んじて、高付加価値の多機能膜を創り出す化学会社である。様々な要素技術を用いて生み出される機能は、粘着、接着、光透過、電磁波シールド、熱伝導、電気伝導、絶縁、制振、熱可塑、熱硬化、水溶性など多岐にわたり、これらを複合化し多機能化させることもある。これら機能を有した数々の製品は、住宅・建材、自動車内装品、電機、電子機器、などに幅広く用いられ、便利で豊かな製品づくりを支えている。そんな共同技研化学株式会社は、高分子化合物（ポリマー）の重合・合成を自在に操り、先行技術を確立することで成長を続ける小さなガリバー企業と言えるだろう。

「世界初」をはじめ驚きの製品を次々開発

「初めてを始めます」をキャッチフレーズに、徹底して先行技術に挑戦する共同技研化学。3年連

続で日本発明振興協会の発明大賞を受賞するなど、新技術・新製品開発の実力は折り紙付きだ。とりわけ同社の存在を知らしめたのが、世界初の瞬間粘着フィルム「分子勾配膜両面テープ」。分子のグラデーションによって、通常の両面テープの1.5倍から2倍の接着力を持ち、防水性や耐薬品性も併せ持つ。自動車内装、モバイル機器の薄型化など、接着の代替えとして、幅広い用途を持つ。最近では自動車のコネクテッド化に伴い、ハンドルやシートなど様々な部位にタッチセンサが埋め込まれているが、曲面でもしっかり張り付き、導電性も有する分子勾配膜両面テープが採用され始めている。

同テープの中心基材であるアクリルを発展させた製品が、透明で柔らかいシートの「メイクリングル」。極めて高い透明性を持ち、衝撃吸収性に優れることから、ディスプレイやスマートフォンの

タッチパネルなどに活用されている。さらにしなやかさと高い強度特性を実現し、耐熱性や耐吸湿性、低誘電・高絶縁性も備えた液晶ポリマーフィルム「SARAS」や、アクリル樹脂を主成分とした熱吸収特性に優れた粘着ゲルシート「FREY」など、驚きの製品を続々開発。他社にはない独自の技術で、次世代通信や先進医療分野をはじめとする成長市場にも製品を送り出している。

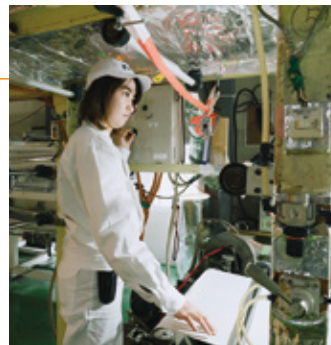
同社のもう一つの強みは、これらの化学技術に加えた製造の技術。創業者でもある濱野尚吉会長が、「ほぼすべての製品は、自前の設備によって造られる」と言う通り、どんなに先進の製品でも、工業的な製造プロセスを確立しなければ、事業として成り立たない。例えば、同社が圧倒的シェアを持ち、住設部門の成長の原動力となったサッシ枠の防水気密シーラ材。長く競合が出現しないのは、品質コストを満たせるだけの



群馬県富岡工場の風景



次世代を担う若手社員



試作を担当する若手技術社員



5G、自動運転を将来実現する独自の生産設備



様々な分野で活躍する粘着テープ

製造技術を確立できないからだ。

先行技術にこだわり、自前設備を開発してまでも新たな機能製品づくりを目指す理由は何なのか。もともと同社は、粘着テープ製造と粘着加工でスタートし、いまなおOEMや自社ブランドで、粘着テープ類の市販品も製造販売している。濱野会長は、「汎用品では規模的にも戦えない。成長分野を見極め、社会に役立つ製品を開発していくしかない」と明言。今後塗工技術を活かした新製品開発を軸に成長を目指す姿勢を強調する。

工場を増設し売上30億円へ

この2月、2代目トップに就任した濱野尚社長は、「高速通信や医療、自動車コネクティブなど技術の変わり目で、当社製品が活躍できる素地は多くある。幸い若い社員が半数以上を占めるが、技術の伝承とデジタル化を推進し、働きやすい職場環境づくりを目指す」と言う。6月には、志木営業所（埼玉県志木市）を都内の池袋に移転して顧客対応力を向上させるほか、2025年までに主力の富岡工場（群馬県富岡市）を増設、

新棟を建設して受注の機会損失を防ぐ一方、本社（埼玉県所沢市）に製造の前工程設備を導入し、一段の成長に備えている。ピーク時の売上高は24億円だが、新体制では当面30億円を目標に事業を拡大していく。

「これまでは膨大なエネルギーを費やす熱で分子結合してきたが、今後はそういう時代ではない。所沢の前工程は、電磁波による分子結合の実証も兼ねていく」と語る濱野会長。先行技術を目指す同社のフィールドは、今後さらなる広がりを迎えるかもしれない。

わが社を語る

取締役社長
濱野 尚



若い人の「やる気」を「本気」で迎える

当社は、粘着テープを中心とした多機能膜製品を電機・自動車・住宅建材・医療などの分野でグローバルに展開し、世の中に必要とされる新しい素材開発を通じて、社会に貢献している会社です。当社には最先端で活躍しているエンジニア、グローバルに活躍している社員、いきいきとやりがいをもって働く女性社員ら、多様な人材が活躍しています。ワークライフ balan

スの取り組みも積極的に推進し、埼玉県の「多様な働き方実践企業」の認定取得や「仕事と介護を両立できる職場環境」整備促進の「トモニン」を取得するなど、働きやすい職場づくりを進めています。これからも新たな分野で製品開発を進めていく私たち共同技研化学は、若い人の「やる気」を「本気」で迎えられる会社です。

会社 DATA

所在地：埼玉県所沢市南永井940番地
創業：1979（昭和54）年10月30日
代表者：濱野 尚吉
資本金：5,000万円
従業員数：80名（2023年5月末現在）
事業内容：1. 多機能性フィルムの製造
2. 粘・接着テープの製造
3. プラスチックフィルム等の最先端素材の塗工・ラミネート・スリット・パンチング加工工業用ゴム製品の製造・販売

URL：https://www.kgk-tape.co.jp

